

● Photo sketch ●



2/26 ありがとう 毎日通った通学路

卒業を控えた肥田中学校の3年生が、毎年この時期、感謝の気持ちを含めて校内を清掃する「立つ鳥活動」。今回は、校内だけでなくお世話になった地域にも貢献しようと生徒会が立ち上がり、3年生42人と同会役員が通学路の地下道清掃に励みました。

生徒らは学校から水や掃除道具を持参。地下道の落ち葉を拾い集め、床や壁を念入りに磨きました。

代表の生徒は「お世話になった通学路をきれいにできて良かった。少しは地域に貢献できたと思う。後輩も続いてほしい」と汗ばむ様子で話してくれました。



2/28 輝く50代 笑顔で全力プレー

3月9日～11日に大阪市で開催される「第29回全国婦人バレーボールいそじ大会」。県予選を勝ち抜き全国への切符を手にしたチーム「ミニ～ず」の市内在住の選手が、出場の喜びや抱負を市長に伝えました。

同チームのメンバーは昭和40・41年度生まれの市内・近隣市在住の14人で、毎月2～3回ほど練習に励んでいるとのこと。

キャプテンは「緊張するが“楽しく”をモットーに、決勝リーグに残れるよう頑張りたい」と意気込みを話してくれました。



3/4 全分団での連携を確認

春の火災予防運動期間に合わせ、林野火災を想定した防ぎょ訓練が市総合公園で行われ、市内全分団から約150人が参加しました。

南部(下石、妻木、濃南、駄知)と北部(土岐津、肥田、泉)の方面隊ごとに防火水槽から水をくみ上げ、火点に向けて最長約550メートルにわたりホースを中継し、放水を行いました。大規模かつ広範囲にわたる火災にも万全の対応ができるよう、入念に連携の確認を行いました。



3/11 会場は春の夢心地

暖かな春の訪れを感じさせるスプリング夢コンサート。18回目の開催となる今回は、「あなたが受けた『感動』『勇気』『癒し』」の一曲をテーマに、市内外で活動を続ける演奏家など約100人が日頃の練習の成果を披露しました。

演奏者は、バイオリン、フルート、ピアノ、声楽、合唱など美しく伸びやかなハーモニーで観客を魅了。会場からは「ブラボー」など賞賛の声や、惜しみない拍手が送られていました。



2/25 なるほど! 広がる可能性

昨年の3月から土岐の豊かな暮らしにつながる5つのテーマについて、市民の皆さんと考え活動する「土岐くらしのラボ」を開催してきました。同7月にはテーマごとに話し合ってきたグループや、地域で活動する団体などが土岐での暮らしの楽しさを発表し合う交流会が開かれました。

2回目となる今回は、各くらしのテーマや地域で活動する団体など約90人の参加者がセラトピア土岐に集結。「ときどきトークン」と銘打ち、活動経過や新たな課題なども踏まえながら“土岐のミライ”について熱く語り合いました。

参加者は「みんなの活動状況を聞いて、自分たちのプロジェクトのヒントとなるものがたくさんあった。もっと活動を広げていけると感じた」「各グループだけの活動に留まらず、お互いの活動をつなげ合ったらもっと良くなると思う」など豊かな“土岐のミライ”を思い描きながら話してくれました。

皆さん、ぜひ一緒につながり活動しませんか。問い合わせはまちづくり推進課(内線186)まで。



2/20 伝統文化の継承に貢献

陶芸家の和田和文さん(下石町)が、平成29年度岐阜県伝統文化継承功績者顕彰を受賞し、その報告に市役所を訪れました。今回の受賞は、独自性に富んだ創作活動や、若手陶芸家の育成・指導などが高く評価されたものです。

和田さんは、「今後も独自性を自身の創作の柱に掲げながら、伝統文化の継承に貢献していきたい」と受賞の喜びと、今後の意気込みを語りました。



2/24 駄知の英知と郷土愛の結集! 「駄知ふるさとかるた」完成

故郷を誇り愛する心を育もうと、駄知小学校の児童や地域の皆さんが一体となって制作した「駄知ふるさとかるた」。その完成お披露目会が同校で開かれました。

かるたの題材や絵札・読み札は公募の中から決定し、同町の名所や産業、自然など“郷土愛”がたっぷり込められています。制作した約1,000セットのかるたは公民館や地域の事業所などにも配られるとのこと。児童らは「このかるたを通じて駄知のことをもっと知りたい。家族と一緒に名所を巡りたい」と満面の笑みで話してくれました。